

祝
優秀賞

令和5年度横浜市消防操法技術訓練会

令和5年11月18日、深谷町にある横浜市消防訓練センターにおいて4年ぶりに行われた横浜市消防操法技術訓練会に戸塚区を代表して第二分団が出場し「優秀賞」を受賞しました。



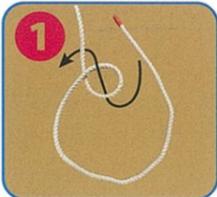
●選手のコメント

令和5年2月に基礎訓練から始め結果上位入賞できました。訓練に集中できたのは関係者の皆様のサポートにあり感謝しています。今回の経験を地域の安全安心に役立てて行きたいと思いを。

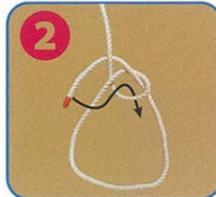
消防豆知識⑩ もやい結び

ロープ結索第2段。もやい結びを紹介します。

簡単に結べ、強度が高く、簡単に解くことができる結びの王様です。物を吊り下げたり、負傷者の救助に役立つ実用性の高い結び方です。



1 輪を作り末端をそこに通し、末端を矢印のほうにまわす。



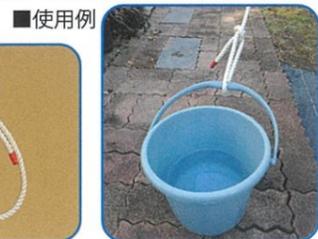
2 末端を矢印のように輪に通す。



3 この形になれば正解。両端を矢印の方向に引っ張り閉める。



4 完成



川や池からバケツで水を汲むのにも役に立つ。

懐かし写真館

半纏



昭和初期の戸塚消防組で使われていた半纏。これを着て消防活動をしていました。
※半纏、組頭半纏、「刺し子」長着、頭巾の4点は、令和4年12月に横浜市歴史博物館(都築区)に寄贈されました。

急な病気や怪我で受診の相談をしたいときは・・・？
横浜市救急医療相談センター(＃7119)



#7119

※または、045-232-7119
すべての電話でご利用できます。



受診できる病院・診療所を知りたい時は・・・？
電話機の1を選択してください。

急な病気や怪我で、病院・診療所に行くか、救急車を呼ぶか迷う時は・・・？
電話機の2を選択してください。



消防に関する懐かしい写真をお寄せください。

戸塚消防団通信では消防団に関する活動・建物・機材など懐かしい写真を募集しております。「古い写真あります。」とお電話ください。広報委員がお伺いします。

TEL: 045-881-0119



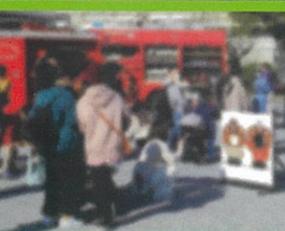
戸塚消防団通信

vol.10

2024.4

To Sho Dan News

特集 祝!!消防団通信vol.10
広報委員会って、何!?
戸塚消防団本部・分団の紹介
消防団からのお知らせ: 令和5年度横浜市消防操法技術訓練会
消防豆知識⑩もやい結び
懐かし写真館: 半纏



体験コーナー(戸塚小学校)



ラッパ隊演奏(柏尾川河川敷)



区消防出初式

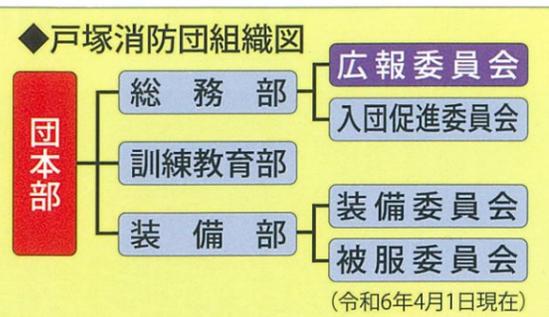
今号の表紙: 消防出初式での放水(2024年)

特集 消防団の宣伝屋 広報委員会って何？

広報誌もVol.10を発行する運びになりました。記念として今回は広報委員会の紹介をします。

広報委員会 誕生秘話

こうして 広報委員会は始まった



<設立>

戸塚区民より、消防団と消防署の違いや消防団は普段どんな活動をしているのか？ 他の消防団に広報誌はあるのに、なぜ戸塚消防団にはないのか。など、消防団についての疑問や質問が多く寄せられました。又、近年消防団員の減少や入団する区民が少なくなっていることなどが有り、戸塚消防団・団員より、区民にもっと消防団の事を理解して頂きたいとの要望が出されたのを踏まえ、2018年4月、広報委員会はスタートした。

<目的>

- ◆団員募集活動及び募集にかかる広報ツールに関すること
- ◆訓練、防災指導及び各種イベントにおける写真撮影
- ◆戸塚消防団機関誌の制作・発行
- ◆団員募集リーフレットの作成
- ◆広報グッズの検討
- ◆消防団ホームページの作成等



広報誌発行を伝えるタウンニュースの記事

<活動内容>

- ◆広報誌の発行
 - 戸塚消防団通信
 - 区民の皆様へ消防団の活動を広く知っていただくために消防団通信を発行(通常年2回)
 - 戸塚消防団通信mini
 - 消防団員向けに2021年11月から発行(通常年3回程度)
- ◆消防関連のイベントに参加、インタビュー
 - 「戸塚区民まつり」などの消防関連イベントに参加及び取材活動
- ◆入団促進キャンペーンの支援
 - 中学生および保護者向けに消防団活動を紹介するチラシを作成
- ◆通常の消防団活動に加えて広報委員としても活動しています



消防団通信mini



訓練の様子を撮影する広報委員



広報委員のピブス



中学生向けチラシ

戸塚消防団通信の創刊にあたって

- ◆2018年4月、まずは広報誌を作ってみようとして「広報誌・戸塚消防団通信」を編集する広報委員会を設置し、悪戦苦闘の末、消防団通信 vol.1 を2018年11月に発行しました。
- ◆広報誌 vol.1 の発行については、当時、タウンニュースでも紹介されました。
- ◆表紙にプロレスラー蝶野正洋氏の写真を入れ、インパクトのある広報誌に仕上がりました。広報誌を作成する自信ができました。以後年2回発行しています(2020年、2022年はコロナ禍で1回)。
- ◆メンバーは戸塚消防団員の中より、「広報誌」作成に興味のある団員・カメラの得意な団員・デザインに興味のある団員等で構成しています。

記念すべき消防団通信vol.1



メンバー紹介「私たちが携わっています。」

市川正敏



広報誌作成で一番の思い出は、第一号(vol.1)の発行です。今後も広報委員の方々と一緒に良い広報誌作成に尽力します。

鈴木聡



分団長から、「鈴木さんこういうの得意でしょ」と広報誌に参加、ロゴやデザインを担当する。他分団の委員と楽しくやっています。

吉田隆晴



「地域住民の命と暮らしを守る」私たち消防団員の熱い心をCOOLにお伝えできればと思っています。

富崎二郎



消防団の日常の活動を、団員や先輩及び家族の皆さんに、知って頂けるようわかりやすくminiで伝えます。

吉田千鶴



私の書いた文章が活字になっていることに驚いています。が、プチ・ジャーナリスト気分も楽しんでいます。

広報委員会の真骨頂 広報誌の発行

広報委員会の重要な役割として、広報誌「消防団通信」の発行がある。消防団の活動や役目を広く一般に知ってもらうために、より良い紙面作りに励んでいる。

Library

過去に発行した

戸塚消防団通信

vol.1
2018.11



vol.2
2019.4



vol.3
2019.10



vol.4
2020.4



vol.5
2021.4



vol.6
2021.11



vol.7
2022.10



vol.8
2023.4



vol.9
2023.11



消防署から
ひとこと

総発行部数は、30,000部を超え、主に消防署や消防団各器具置場にて配布をしています。また、戸塚ふれあい区民まつりや夏祭りなど各地で行われる催し物でも配布をしています。「毎号、カラーで見やすく工夫され、消防団通信を見て消防団に興味を持ちました!」とおっしゃる区民の方もおり、消防団員入団促進のカンフル剤としての役割を期待しています。(戸塚消防署消防団係談)

消防団通信ができるまで

①アイデア出し

広報委員が各自案を出し合い、精査していく
・特集について・表紙の写真・消防豆知識
・懐かし写真館・消防団からのお知らせ等

②たたき台作成

アイデアをビジュアル化
・写真や記事をどうするか意見を出し合う

③編集会議

台割りイメージができるまでたたく
・たたき台をベースにさらにイメージを膨らませる
・粉々になるまでなんども編集会議でたたく

④レイアウト

スッキリときれいにできた
・編集会議の内容を元に数回レイアウトと修正を加える
・たたき台のイメージはほとんどない

⑤確認・修正

最終調整。完成までもう一息
・写真の入れ替え
・文言修正、誤記訂正

⑥印刷発注・完成

データを印刷会社に入稿
・印刷されて納品
・各所に配布



②消防団通信vol.8たたき台



③編集会議



④消防団通信vol.8初校レイアウト



⑥消防団通信vol.8完成版



団員向け



戸塚消防団には7つの分団があり、分団間および団員間の交流を目的として、各分団独自の訓練や団員の日常を紹介する団員向けの消防団通信miniが誕生した。

<消防団通信miniの作成手順>

- LINEを使ってタイムリーに作成
- 記事・写真撮影は委員が担当・投稿
- 集まった記事を担当委員がレイアウト
- 数回の校正・レイアウトを委員が確認
- 最終確認は対面打合せ
- 完成したminiを関係者に配布

戸塚消防団 本部・分団の紹介

本部ならびに分団の人事が新しくなりました。
みなさんの役に立つ頼りになる消防団を目指します。

戸塚消防団本部

団本部は各分団と連絡調整を行い、全体のイベントや訓練等の実施計画をしています。

風水害や震災等の大規模災害発生時には、戸塚消防署内に団本部を立ち上げ、消防署と連携しながら、戸塚消防団全体の部隊運用を行います。

総務部

広報委員会

入団促進委員会

- 消防署との連携
- 各分団の連携
- 消防関連各種イベントの計画・運営
- 広報活動
- 広報誌の発行



訓練教育部

- 訓練の年間計画立案及び実施
- 訓練指導者の育成



装備部

装備委員会

被服委員会

- 積載車・資機材及び被覆の維持管理



団長
吉原 薫



令和6年度より戸塚消防団長に就任致しました吉原薫と申します。

戸塚消防団は市内でも最大の760名の団員を有し県内でも団員数で3番目の消防団です。

戸塚区民から生まれ頼りにされるカッコイイ戸塚消防団を目指して日夜活動をしています。

総務部

副団長
小賀原 裕一
(兼務)



総務部は団本部会議、各種式典等の進行、消防団を知って頂く広報誌発行、ともに町を守る新入団員募集を行っています。

本部部長
戸塚 光春
(広報委員会)



地域防災の要として皆様の安心、安全を守るため、地域防災に微力を尽くしてまいります。

本部部長
小泉 春海
(入団促進委員会)



団員募集活動などを積極的に行い、充足率100%を目指して入団促進を行って参ります。よろしくお願ひします。

訓練教育部

副団長
小賀原 裕一



如何なる災害にも対応出来るよう、団員のレベルに合わせたフォローアップ研修、ステップアップ訓練、団員を指導する訓練指導者のレベルアップ訓練、署・団連携訓練等を実施しています。

副団長
那須 保
(兼務)



本部部長
大山 眞智子
(兼務)



厳しく・楽しく、訓練を実施して行きます。

本部部長
三枝木 正夫



消防団活動の残すところ1期4年です。出来るところまで一訓練指導者として活動してまいります。

本部部長
栗原 正文



消防団39年戸塚をこよなく愛する戸塚っ子です。継続は力なり、皆さんと共に頑張る参ります。

装備部

副団長
那須 保



災害に備え、装備品の充実強化、保守及び安全性の向上、被服ではかつてよくて機能的な被服等の充実を力を入れています。

本部部長
青木 勇
(装備委員会)



本年度より装備担当本部部長に拝命されました。一致団結して頑張っていきます。

本部部長
大山 眞智子
(被服委員会)

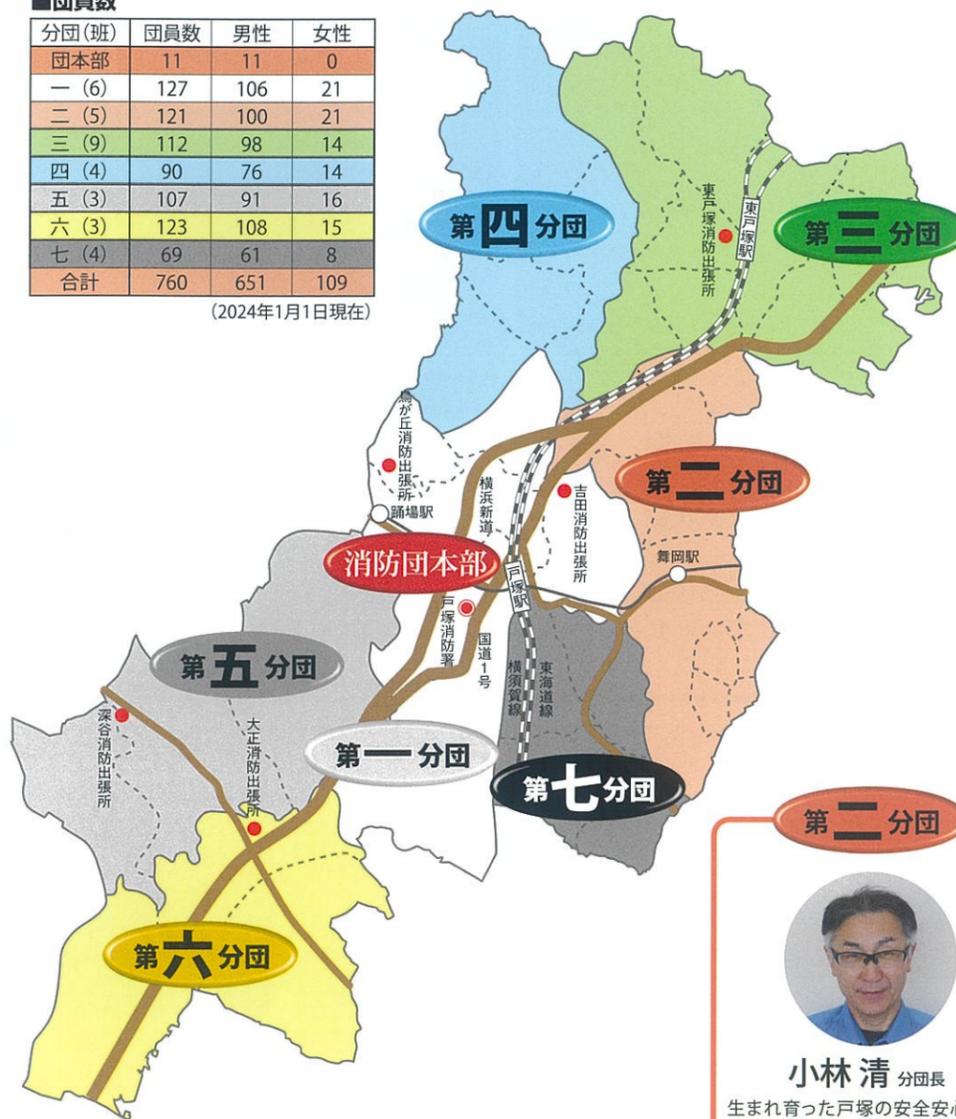


自宅を守る家庭防災員から、地域を守る消防団員になり25年、災害に備え予防・防災に務めたいと思います。

戸塚消防団 分団

分団(班)	団員数	男性	女性
団本部	11	11	0
一(6)	127	106	21
二(5)	121	100	21
三(9)	112	98	14
四(4)	90	76	14
五(3)	107	91	16
六(3)	123	108	15
七(4)	69	61	8
合計	760	651	109

(2024年1月1日現在)



消防団の担当区域



QRコード

第一分団



坂間 庄二 分団長

第一分団長に就任した坂間です。災害から人と街を守る為に訓練を重ね強い消防団を目指します。

第二分団



小林 清 分団長

生まれ育った戸塚の安全安心の為に団員と一丸となって頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

第三分団



甲斐 幸人 分団長

消防団員として震災に伴う火災が発生した場合に住民が迅速に初期消火出来る様訓練指導していきたく思ひます。

第四分団



根木 一郎 分団長

上矢部町・名瀬町住民の信頼にお応え出来るよう、団員一同各種訓練・個々のスキルアップに精進してまいります。

第五分団



山田 茂 分団長

自然災害及び地域の災害に備え、信頼、必要とされる消防団として、訓練、研修に取り組んでまいりたいと思ひます。

第六分団



米倉 淳 分団長

団員同士の絆を大切に、素晴らしいところは継続し、地域の安全安心に貢献出来るようチーム6分団で頑張ります。

第七分団



笈川 孝博 分団長

40年の消防団経験を活かし地域の皆様の安心、安全を守るため、団員と共に消防団活動に邁進して参ります。